



西の草津は 温泉は出ないけど、 熱量満タンやで!



俳優 土平ドンペイさん

史跡草津宿本陣(草津一)

昨年、NHKの連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」に映画監督役でご出演されていた草津市民の俳優 土平ドンペイさんと橋川市長が草津の魅力について語り合いました。

市長 あけましておめでとうございます。昨年はKUSATSUBOOSTERSのメンバーにご就任いただきありがとうございます。周りからの反応や、ご自身の中で何か変化がありましたか。

ドンペイさん 私は草津市民で、草津にものごく愛着があります。KUSATSUBOOSTERSのメンバーになったからには肩書きだけではなく、本気で取り組むメンバーになりたいと思ったのが率直な気持ちです。その記事が新聞の滋賀版に掲載され、草津で通っているスポーツジムで皆さんから「ドンちゃん出てたね」と話しかけられました。うれしかったですね。ただ、東京でその話をすると「群馬の草津温泉?」と聞かれます。ですから、西の草津を県外の多くの方に知っていただくために「温泉はないねんけどな。でも、熱量は半端ないねん!」と草津をPRしています。

市長 私は「草津温泉のお湯はないけれども、草津には琵琶湖の水がある」と言っていますが、ドンペイさ

んの温泉と熱量をかけたキャッチも面白いですね。

毎日歩きながら 地元の魅力ある風景を発見

市長 ところで、ドンペイさんは役者という仕事柄、地方を拠点とされるのは大変だと思いますが、実際に草津市で暮らされて、街の印象はどうですか。また、住みやすいと感じているのは、どのようなところでしょうか。

ドンペイさん 高校卒業後、当初は大津市に住んでいましたが、俳優業にチャレンジすると決断し、草津市に住む先輩の勧めで草津市に住むことになりました。今もですが、住ま

いは草津駅から近く、京都で山陰線に乗り換えて東映大秦までは便利に通えていたので、私自身は交通にとても便利な街だと実感しています。交通の便もさることながら、草津からは琵琶湖や対岸に比叡山が見える、この風景が大好きですね。

市長 冬は比叡・比良山の山並みに雪が積もっていて、手前に琵琶湖がある景色は私も大好きな風景ですね。琵琶湖などの豊かな自然にも恵まれた街であり、交通も便利だとおっしゃいました。確かに草津市は草津駅と南草津駅の2つの駅を中心に、市街地がつくられ、駅からだと快速で20分

以内で京都へ、1時間以内で大阪に通動できる交通の便がいい街です。ドンペイさんは草津の家に戻られたときは、どんな風に過ごされているのですか。

ドンペイさん 東京から草津に戻ってきたら、ほっとしますね。空気がったり、風景がそうさせるんだと思います。ただ、急に役が入ってくるので、

休暇で草津に帰っていても、いつでも役者としてのスイッチが入るように、ジムに通ったり市内のあちこちを毎回歩いたりして、トレーニングをしています。

市長 私も歩いています。ドンペイさんと比べたら、まだまだ自慢には程遠いですね(笑)。

「健幸都市くさつ」をめざして

〈草津市長 橋川渉〉
1949年生まれ。京都大学卒業後、1973年草津市入庁。企画部長、政策推進部長などを歴任し、2008年3月～草津市長(16～19代)。座右の銘「至誠」「至誠にして動かざる者は、未だこれあらざるなり」(孟子)

〈俳優 土平ドンペイ〉
1966年生まれ、大阪府出身で草津市在住。京都撮影所の大部屋俳優を経て上京後、映画やドラマに多数出演。主な出演作は映画『GANTZ』『探偵はBARにいる』など。連続テレビ小説『べっぴんさん』『花子とアン』『カムカムエヴリバディ』など、大河ドラマでは『功名が辻』を皮切りに『龍馬伝』『平清盛』『軍師官兵衛』などで存在感のあるバイプレイヤーとして活躍中。

市長 草津市は誰もが生きがいを持ち、健やかで幸せに暮らせるまちをめざし「健幸都市」づくりに取り組んでいます。市民の憩いの場や活動の場として、草津川跡地を整備して公園をつくったり、市民が豊かなスポーツライフを楽しめる、YMITアリーナや草津市立プールの整備を進めたりしています。他にも市内の飲食店や運動施設と連携した「食と運動プロジェクト」などの取り組みを行っています。ドンペイさんはこの「健幸都市」の取り組みをどう思われますか。

ドンペイさん 草津市の「健幸都市」とは「輝いて生き生きと生きる」という意味なんです。YMITアリーナができたのは画期的だと思います。2025年には国スポ・障スポも開設されるということで、この立派な施設も市民の人が利用でき、楽しめる

市長 お話いただいた草津市立プールは50mと25mプール、そして飛び込みプールがあり、これらが一年を通じて使えるのは西日本ではここだけです。また、50mプールは水深が3mの深さがあり、全国で初めて、プールを4つに仕切り、それぞれ可動床で水深を変えることができます。2025年の国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会以降は、さまざまな利用形態に対応するプールとして、大規模な大会の開催や合宿での利用だけではなく、市民や県民も利用できる枠を確保することで、健康づくりにお使いいただける施設になると考えております。

野球を断念しても、 スキーやカヌー競技に チャレンジして国体選手へ

市長 ところで、ドンペイさんのプ



史跡草津宿本陣 (草津一)
江戸時代、大名や公家などが休泊した本陣。江戸時代の空気を感じてみてください。
② 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
月曜日休館 (祝日の場合は翌日)
問 ☎ 561-6636



今日の撮影場所

PROFILE

ロフィールを拝見して驚いたのですが、野球以外にも高校時代はスキーやカヌーもされていたのですね。実は私も少しカヌーをしていて、親しみを感じました。野球以外のスポーツへの転向は何がきっかけだったのでしょうか。

ドンペイさん 野球推薦で高校に入ったのに、けがもあって挫折したんですね。たまたまスキー部の顧問をしていた担任の先生に誘われ、スキー部に入部しました。スキーを一度もしたことがありませんでしたが、すぐに県の強化合宿で、野沢温泉スキー場まで行きました。その時は背中が滑っていましたね(笑)。高校卒業が近くなり、滋賀での思い出作りに何かしたいと探していたときに、偶然、世界選手権に出場されたカヌー選手が先輩におられたことから、カヌーにはまっています。

市長 それからすぐに国体選手になられたのですか。

ドンペイさん 半年後には県の大会で優勝して国体選手になり、奈良国体に出ました。冬場で身体中あざだらけになりました。練習は、野球以上に厳しく感じましたね。滋賀代表で国体に出場したこともあって、そのまま県内で就職することになりました。2年間は国体選手で出場し、その後は監督として、トータルで4

回国体に出ています。
市長 野球を断念しても、スキーやカヌーと違う競技にチャレンジされた情熱に感心します。

「チャンスをつかんだからこそ、俳優としての自分がある。」

市長 その後はサラリーマン生活をしながら、国体の選手として好きなスポーツ分野でも活動もされ、充実されていたように思うのですが、なぜ、そこから役者をめざされたのですか。

ドンペイさん 野球に挫折したころに京都駅で、たまたま俳優募集と書いてあるポスターを見たのがきっかけです。その後、東映京都撮影所で2年間の研修を受けました。高校卒業後はサラリーマン、カヌーの国体選手、大部屋のエキストラと3つを



中学生のころに一人で安土城跡に来て、その帰りに草津駅で降りました。温泉があると思ったんですけど、駅員さんに教えられた所まで行くと、今はなき「草津温泉」というお風呂屋さんでした(笑)



掛け持ちしていました。国体もあり、しばらく演技の方は休んでいました。ある程度落ち着いたころに、サラリーマンをしながら、東映太秦映画村内で時代劇の格好をしてお客さんと写真に写る衣装バイトを週末だけ始めました。その後、松竹に移りエキストラで現場に出ることで、演技への研究心がどんどん湧いてきました。ある時、ト書き(登場人物の動きなどを指示した部分)に出てくるような役が入り、うれしかったですね。そこから真剣に役者1本で行こう、と決心したことは今でも印象深く記憶に刻まれています。

市長 もちろん、ご家族の協力があったこそだと思いますが、役者になる夢を貫いたのはなぜだと思いますか。
ドンペイさん チャンスをしっかりとつかんだからだと思います。3人の

「続ける」ということは、楽しくなければ続かない。」

市長 チャンスをつかむための鍛錬もされていたわけですね。その後は、NHKの朝ドラや大河ドラマなど、バリエイター(助演者)として活躍されています。若いときからの夢を貫きながら、その一方で3人の子ともさんも育てられたということですね。

市長 草津市では現在「持続可能な社会をめざして行動できる人を育てるための教育」として、ESD(エデュケーション・フォー・サステナブル・ディベロップメント)を進めています。もしドンペイさんが教師だったら、子どもたちに何を伝えたいですか。

ドンペイさん 人の気持ちに寄り添うことや、自分のできることをしっかりすることが大事なことでと伝えたいです。共働作業ができるように、林間学校のような活動も良いですね。例えば、みんなで協力して、学校の運動場にテントを張り、みんなでご飯を作るのはどうでしょうか。人を気遣う力が養われるはずですよ。また、農家の人たちが、私たちのために米や野菜を一生懸命作っていることを伝えるのも大事だと思います。そうすることで、感謝する心も育まれると思います。

市長 「食育」とともに人の気持ちにならなっていくことですね。持続可能な社会は現代人の未来に向けた大きなテーマです。そうした社会を作るには、ドンペイさんのように物事をポジティブに捉え、挑戦していく力が必要ではないかと思うのですが、ドンペイさん自身はどう

思われますか。
ドンペイさん 「持続可能」という言葉だけで簡単に解釈すると、「続けること」ですね。人は「楽しいな」と思ったらどんどん成長します。テニスのコーチをしていた時代のことですが、私が木曜日のレッスンを持っていると「次の木曜日まで」と言ってくる生徒さんがたくさんいました。子どもたちの心をつかむと、どんどん上手くなって成長します。だから「持続可能」というのは、物事は楽しくないといけない、というのが私の考えです。

「承前啓後」この言葉に、びったりのまち、草津

市長 最後にKUSATSU BOOSTERSであり、草津の魅力を十分知っていただいている方として、改めて草津市民にメッセージをお願いします。

ドンペイさん 昔からのことを受け継ぎ、未来につなげ、切り開いていく「承前啓後」という言葉がありますが、草津はその言葉にびったりの街だと思っています。すでに草津は魅力がいっぱいありますが、行政の後押しも必要です。それともう一つ、

子どもがいましたので、妻には「3年だけください。チャンスがつかめなかつたら、堅実なサラリーマンになります」と約束をしました。寝る間もない日々を追われ、3年の月日はあつという間に過ぎました。後悔するのが嫌だったので、最後の1年は東京に出て、行ったり来たりの日でした。

簡単に一言で言うなら「いつも笑顔で!」。笑顔があつたら絶対に幸せになれると思っています。

市長 昨年の暮れに、市内(7地域)に伝わる民俗芸能の「サンヤレ踊り」が風流踊の一つとしてユネスコの無形文化遺産に登録されました。草津は伝統を継承する風土のある誇れる街で、まさに「承前啓後」の街です。

そして、今後とも笑顔のある街になるよう、KUSATSU BOOSTERSとしてご協力ください。本年もよろしく願っています。



草津のスクールESDの取り組み

現在3校のモデル校が指定され、老上小学校では、育てた花を地域に届け、魅力あるまちづくりをめざす取り組み。常盤小学校では米作りを体験し、米の消費促進を考える取り組み。松原中学校では生徒会代表者が、草津野菜の収穫を体験し、魅力を他の生徒に伝え、みんなで地域に広げる取り組みを進めています。

